



# 下大和田谷津田だより

2005年12月号

## 第70回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

11月6日 くもり

曇空の下、晩秋の谷津を散策しました。虫たちは余り出てきませんでしたが、鳥は賑やかに鳴いていました。アシヤオギの叢からはアオジの声がたくさん聞こえました。赤や紫の木の実、様々な草の種などが楽しませてくれました。U字溝にシャモ鶏の鶏が落ちていて捕虫網で救出するハブニングがありました。衰弱してよろけながら歩いていましたが、元気になったでしょうか。

**開花植物：**カントウヨメナ、シロヨメナ、ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、コメナモミ、ハキダメギク、コシロノセンダングサ、タイアザミ、セイヨウタンポポ、オオジシバリ、ノゲシ、キツネノマゴ、トキワハゼ、キクモ、キバナアキギリ、ヒメジソ、シロツメクサ、カタバミ、スカシタゴボウ、イヌガラシ、ノミノフスマ、ウシハコベ、カンアオイ、ミゾソバ、イヌタデ、ヤナギタデ、シマスズメノヒエ、チジミザサ、ジュズダマ、コナギ

**昆虫：**クロコノマチョウ、アキアカネ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、クビキリギス、オンブバッタ、ウスイロササキリ、ツマグロオオヨコバイ、エサキモンキツノカメムシ、ヨコズナサシガメ幼虫

**野鳥：**モズ、エナガ、カワセミ、シジュウカラ、ヒヨドリ、アオジ、セグロセキレイ、ホオジロ、メジロ、ウグイス、スズメ、ハシブトガラス

**その他：**ナガコガネグモ、ジョロウグモ、イオウイロハシリグモ、ニホンアカガエル、ヤマカガシ、メダカ、マルタニシ、オオタニシ、ノウサギの糞

(参加者：大人8人、子ども1人；報告：網代春男)

## 第54回谷津田プレート・プロジェクト(YPP)

### 「収穫祭」

11月13日 晴れ

穏やかな天気のもと、収穫祭が行われました。豊作だったコシヒカリはお釜と竹で炊きました。「やっぱり谷津田米はおいし〜い!」、みんなで作ったお米を田んぼで食べるのは最高ですね。いつものように魚やイカ、チキンのバーベキューに焼き芋、みそ汁とたくさんの食べ物が揃ってみんなニコニコ。おいしいにおいが谷津田に漂いました。アトラクションは、何とお箏!高校の生物の先生、高橋さんがわざわざ箏を田んぼに運んで演奏して下さいました。谷津田に響く箏の音色が風景にとってもよく合います。何とも贅沢な時間、みんな聞き惚れていました。養蚕をしていらっしゃる江口さんは繭玉起きあがりこぼしのゲームを作って持ってきてくれました。かわいらしい絵、ユニークな動きが子どもたちの目をひいていました。高校生の古口君は組みひもを教えてくれるコーナーを開いてくれました。そして、恒例となった谷津田運動会。グループに分かれての「こぼしちゃだめよ!」では大人も子どもも真剣に水をバトンリレーしました。ジュズダマの種とばしは思いっきり飛ばしたつもりが足下に落ちたり、今回も笑いが一杯。弓矢は小さな子どもも真剣な顔つきで的をねらっていました。最後のウルトラクイズは賞品の新米を目指して問題に一生懸命耳を傾けていました。収穫祭の様子はちば・谷津田フォーラムのホームページの写真をご覧下さい。

去りゆく秋を本当に満喫した一日でした。今年の米づくりに参加した皆さん、有り難うございました。

(参加者：大人38人、小中学生12人、幼児8人、報告：高山邦明)

## 古代米の脱穀

11月23日 晴れ

10月30日に稲刈り・オダ掛けした古代米の脱穀をおこないました。秋の日差しをたっぷり浴びた稲束を次々に脱穀機に通すと、古代米独特のノギの長いモミが米袋にどんどんたまっていきました。脱穀機の周囲に飛び散ったモミは、きっと冬を越すスズメたちの食糧になることでしょう。結局1時間30分ほどで、玄米換算で緑米100kg、赤米10kg、黒米少々などの脱穀が終わりました。今年はコシヒカリ同様、古代米も豊作でした。

(参加者：大人9名、報告：田中正彦)

## 下大和田季節のたより

11月19日 日だまりでアキアカネ、林の縁でオオアオイトトンボが飛ぶ(高山)

11月26日 里山安全講習会で、サワラ約10本とコナラ1本を倒木しました。(田中)

おだげけしていた古代米の脱穀が終わり、田んぼがとても広く感じます。今年は暖かいせいか、12月を迎えるのに、まだ赤トンボの姿を見かけます。でもよく見るともう羽がボロボロ。田んぼのツグミの声がして、冬の訪れを感じます。

高山邦明